

秋吉台草原ふれあいプロジェクト

2017年度 報告書

❖❖❖ 10周年記念号 ❖❖❖



ごあいさつ

秋吉台草原ふれあいプロジェクトは、秋吉台草原の活用と保全を目的に平成20年に発足して10周年を迎えることができました。会員の皆様や多くの一般ボランティアの皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

全国的に草原の減少が進む中で秋吉台の草原も縮小しつつありますが、観光資源としての景観の保全や農家の野草利用の場として毎年山焼きを行い、草原環境は維持されてきました。秋吉台の草原には草原特有の環境を好む動植物が数多く生息・生育していますが、秋吉台草原ふれあいプロジェクトでは、これらの動植物を守りながら草原をいかに活用できるかをテーマにさまざまな活動をしています。

その中でも「お花畑プロジェクト」は動植物を守りながら野草をいかに有効利用できるかをテーマとして作業しています。また、「遊歩道にお花畑づくり」では観光で訪れる多くの方が利用し、草原野草の8割近くを観察できる最も重要な遊歩道沿いをいかに保全できるかに取り組みました。さらに、「草原の復元作業」はセイタカアワダチソウ群落を草刈りで元の草原にもどす作業を実施しています。

各事業のすべての作業場所では植生や開花数、光環境の調査を行っていますが、草原の復元作業区域では専門家のご協力により土壌の化学性調査も行うことができ、それらの結果を基に事業効果の検証をしているところです。今後、調査データを元に最も有効な草原の利用・保全方法が提案できればと願っています。

それに加えて、年数回開催している高校生や小学生たちの草原学習も、草刈り体験などの学習をとおして将来の草原保全の担い手として育ててほしいと願っているところです。

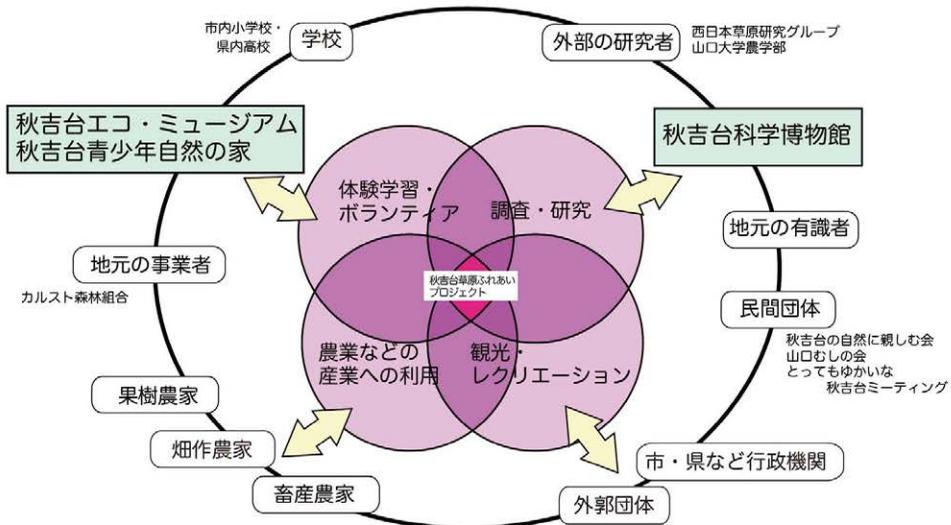
最後になりましたが、土壌の調査をお願いしている山口大学農学部藤間 充 准教授には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

秋吉台草原ふれあいプロジェクト
代表 松井 茂生

ごあいさつ・目次	2
組織概要	3
秋吉台の草原の現状とプロジェクトの取り組み	4
10年間のあゆみ	6
2017年度の報告	
秋吉台お花畑プロジェクト1(草刈り)	8
秋吉台お花畑プロジェクト2(室内での講義)と調査結果	9
草原の復元作業1(草刈り)	10
草原の復元作業2~セイタカアワダチソウの駆除作業~(草刈り)	11
草原の復元作業の効果	12
追加の山焼き(草刈りと火入れ)	13
小学生の草原学習	14
高校生の草刈り体験学習	17
その他ピックス	19

組織概要

秋吉台草原ふれあいプロジェクトが協力いただいている機関や団体



設立年月：2008年5月

会員数：36名

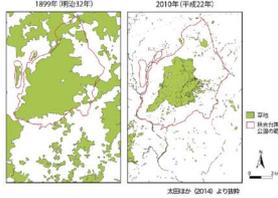
設立経緯：美祢市から秋吉台科学博物館への調査委託をきっかけに、環境保全に問題意識をもつ施設・個人が集まり、任意団体をつくった。委託機関終了後もそれぞれの立場や興味に応じた関わり方で、連携しながら、市内の社会教育団体として活動を続けている。

役員

代表：	松井 茂生 (秋吉台の自然に親しむ会 事務局長)
副代表：	中屋 弘幸 (ほっとビレッジ美東) 荒木 陽子 (秋吉台科学博物館 特別専門員)
事務局：	荒木 陽子 (秋吉台科学博物館 特別専門員)
顧問：	前田 時博 (元秋吉台エコ・ミュージアム 館長)
監事：	山本 浩昭 (やまぐち里山ネットワーク) 猶野 和則 (秋吉台ユース・ビレッジ)
作業班代長：	松井 茂生 (秋吉台の自然に親しむ会 事務局長) 有富 均 (秋吉台青少年自然の家 所長) 中屋 弘幸 (ほっとビレッジ美東)
調査班代長：	荒木 陽子 (秋吉台科学博物館 特別専門員)

草原の面積は小さくなっている

農業や生活に草原の草を使っていた明治時代には、秋吉台には台上にも周辺地域にも草原がたくさんありました。草の利用が少なくなった今、草原はほとんどなくなり、秋吉台の台上に残るのが最大になりました。
その草原も、山焼きの際の防火帯（火道）が内側に入ってきたり、燃え残る樹林が大きくなったりして、草原の面積は縮小してきています。



地元住民の人口減少や高齢化により、火入れを担う労働力が足りなくなっています。安全に作業する知識がきちんと受け継がれることも大事です。

山焼きを続けるのは大変

山焼き応援プロジェクト

やぶ刈りや燃え残り整備で地元の山焼きを応援します



ドリーネ畑も少なくなった

かつてはカルスト地形の窪地（ドリーネ）の底はほとんどが畑として利用されていました。水や土、山焼きの灰なども圃場から流れ込み、ドリーネの壁面の草を刈って畑に下ろすこともできました。今では少数の農家が続けています。

森の手入れが困難

草原の周囲の山林から侵入する竹は1回の伐採ではなくなりません。続けて伐採する労力は大きく、竹の分布拡大はなかなか止まりません。
また、手入れのされない山林の林縁にはつる植物が巻きついていたり、下生えが密生していたりして、山焼きの火が燃え移った際の燃料となり危険です。

希少種の盗掘

秋吉台の草原に生える植物のおよそ1割が絶滅のおそれのある種となっています。持ち帰ったりせず、その場所でみんなで見守りたいものです。

歩道沿いの整備方法

遊歩道沿いは道の整備のために明るい環境が維持され、草原の草花の8割が見られるよう場所になっています。
ただ、花の時期に根元まで刈り込むような整備をすると花は少なくなってしまいます。

獣害が心配

シカが草原の植物を食べた痕跡が少ずつ見られるようになりました。サイオンヤシ、アザミ、ムニンキア、カメシロ、キキョウ等が多く食べられているようです。
2017年度は長者ヶ森の側でもシカが目撃され、山焼きの際には草原の真ん中もシカの糞がありました。今後シカの個体数が増えるに連れて、被害も大きくなっていくものと思われます。

牧場跡地の荒廃

県営の育成牧場が平成15年の春に廃止され、それに伴って約48haの牧草地が放棄されました。
施肥の影響などによって牧草地には外来植物がはびこっています。伸び放題の牧草はイノシシやシカの餌になり、個体数が増えてきています。また、草丈の高い外来植物のヤブはイノシシの格好のすみかです。

秋吉台草原ふれあいプロジェクトの取り組み

遊歩道にお花畑づくり

整備の時期と方法を変えて歩道沿いの花を増やします



秋吉台草原ふれあいプロジェクトの取り組み

草原の復元プロジェクト

草刈りで草原の植物と環境を取り戻します



外来植物の侵入

ドリーネ畑や平地のクリ園跡地では富栄養な土壌に生えるセイタカアワダチソウ等の外来植物が繁殖しています。
メリケンカルカヤ等、富栄養な立地でも生育できる種は道路工事等に伴って侵入した可能性もあります。
侵入した新しい植物は、交雑して別の種を作ったり、もともとあった植物のすみかを奪ったりすることもあつて、できるだけ駆除をしたいところです。

採草場が減った

秋吉台の草原は山焼き後に生える草を家畜のエサや田畑の肥料にするために維持されてきました。かつては全域がそのような採草地でした。今は採草地の面積は草原面積の約3%となっています。
採草地が減るにしたがって、数が減ってきている植物もあります。

秋吉台お花畑プロジェクト

草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やします



10年間のあゆみ

西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017							
トピックス	<p>「全国草原シンポジウム'08 in 東伊豆」にて事例報告(田原)団体設立(5月)</p> 	<p>環境省主催「里山研修会 in 山口」秋吉台の草原の維持・持続可能な利用を考える」の受入れ</p> 	<p>「第8回全国草原サミット」シンポジウム(東北)にてパネル展示</p> 	<p>セゾン・レインみどりの基金による活動助成</p> 	<p>山口県の秋吉台自然環境体験学習事業に参画(平成24年度)</p> 	<p>現地学習会「秋吉台草原の保全と再生を考える」を開催</p> 	<p>「秋吉台の草原学習のしおり」が完成</p> 	<p>「第8回入づり地域づくりフォーラム in 山口」にて事例発表(荒木)</p> 	<p>「CSA秋吉台学生環境サミット」にて講演(荒木)</p> 	<p>環境省「野生生物の活用による地域づくり」調査の調査対象となる</p> 	<p>美祿市制5周年記念式典にて功労者表彰(末栄創造表彰)</p> 	<p>環境省松江自然保護官事務所主催「平成26年度大山隠岐国立公園ウスイロヒヨモントキ情報交換会」にて事例発表(荒木)</p> 	<p>「第10回全国草原サミット」シンポジウム in 阿蘇」にて事例報告(松井)</p> 	<p>山口県さくらめき財団理事長表彰(県民活動さくらめき賞)</p> 	<p>山口県環境学習推進センター主催「環境活動団体等交流会」にて事例報告(荒木)</p> 	<p>「神戸市環境局主催」神戸市生物多様性シンポジウム「外来種と向き合う人々」外来種対策の活動事例と課題」にて事例発表(荒木)</p> 	<p>平成29年度山口県環境保全活動功労団体表彰</p> 
一般募集の行事	<p>秋吉台お花畑プロジェクト (2008~2011年 秋吉台エコ・ミュージアム、秋吉台青少年自然の家と共催、2012年~ 秋吉台エコ・ミュージアムとの共催)</p> <p>草原の復元プロジェクト</p> <p>山焼き応援プロジェクト</p> <p>遊歩道にお花畑づくり</p>    																
他団体との連携・協働	<p>三井住友海上火災保険(株)ボランティア受入 (お花畑プロジェクト、遊歩道にお花畑づくり)</p> <p>連合山口の火道切りボランティアとの協働 (火道の草を使った野草堆肥づくり、ドリーネ畑での野菜づくり)</p> <p>カルスト森林組合主催「美萩木材まつり」に参加 (野草堆肥で作ったダイコンを出品、パネル展示)</p> <p>美祿市観光協会主催「野火の祭典(夜の山焼き)」ボランティアスタッフへの協力</p> <p>美祿市主催「カルストウォーク」への協力</p>     																
学校の学習への協力	<p>美祿市立本郷小学校(のちに秋吉小学校に統合)の草原学習(草刈り体験、自然観察)</p> <p>美祿市立伊佐小学校の草原学習(秋吉台の自然に関する講義)</p> <p>美東連合小学校の草原学習(秋吉台の自然に関する講義)</p> <p>美祿市立赤郷小学校の草原学習(自然観察)</p> <p>美祿市立秋吉小学校の草原学習(草刈り体験、自然観察)</p> <p>山口県立日置農業高校、山口農業高校、秋吉台の草刈り体験学習</p> <p>山口県立大津緑洋高校日置校舎の草刈り体験学習</p> <p>山口県立山口農業高校の草刈り体験学習</p>         																

秋吉台お花畑プロジェクト 1 (草刈り：7月22日)

共催：秋吉台エコ・ミュージアム
草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす



この場所は3年ぶり4回目の草刈りでしたが、草丈はやはり1mを越していました。間隔をあけて刈払い機で刈りました。



休憩まででかなり刈ることができたので、刈った草を集めて運びやすくする作業も並行しておこないました。



刈りたての草はかなり重いのですが、手際よくまとめて軽トラックまで運びました。



代表と参加者からスイカの差し入れ。作業した時にはスイカの甘さと水分がありがたいです。おしゃべりも楽しいひとときです。



刈った草は軽トラック4台分になりました。やはり草を刈ることよりも集めて運ぶことの方が大変です。



草は近くの集落にある畑に運び、サトイモのマルチとして使われました。

秋吉台お花畑プロジェクト2と調査結果

共催：秋吉台エコ・ミュージアム
草丈が高くなった場所で草刈りし秋の花を増やす

荒天のため
急ぎよ変更

室内での講義：10月7日

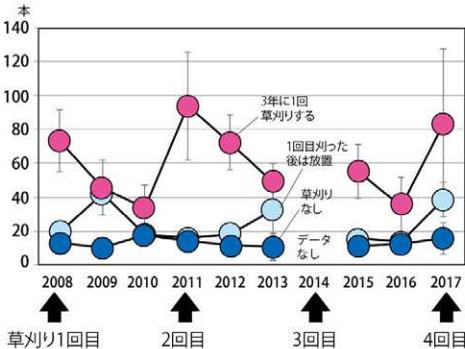


秋吉台お花畑プロジェクトの目的

- 草刈りで秋に咲く花や生きものを増やす
- 草を地元の畑に使ってもらう
- 秋のお花畑をみんなで楽しむ

1 3年に1回草を刈る区域では草を刈っていない区域より花が多く咲きました。

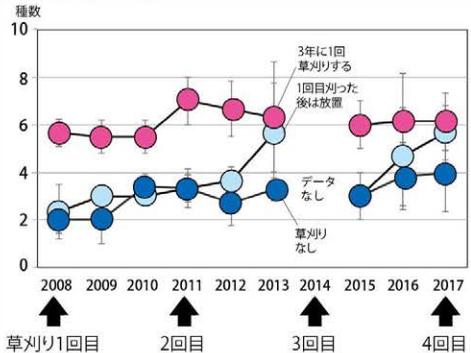
草を刈った年は開花茎数が増える



2 3年に1回草を刈る区域では秋に開花する花の種類も多くなりました。

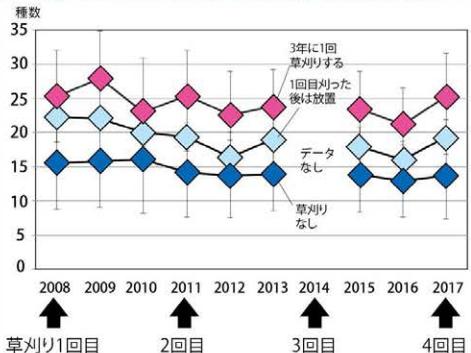
調査結果

草を刈る区域での開花種数が多い



3 出現するすべての植物の種類も3年に1回草を刈る区域が最も多くなりました。

生育するすべての植物の数も多い



草刈り後に咲いた花



※ 作業地内ではありますが調査プロットの外で咲いていた花も含まれます。

草原の復元作業 1 (7月2日)

草刈りで草原の植物と環境を取り戻す



今年度1回目の復元作業です。曇り空で風もあり、作業しやすいお天気でした。



まず刈り払い機が先行しました。人数がいるのであつという間に作業がすすみます。途中から刈った草を集める人が作業を始めました。



毎年2回の草刈りを続けているので、全体に草丈は低くなって来ています。



休憩時間に今までの作業の成果を共有しました。その後刈った草を放置する区域の刈り払い作業を行いました。



刈り払い機を使わない方はクズのつるを切ってくださいました。こうすると秋の作業がずいぶん楽になります。



刈った草は軽トラック2台半程度。例年通り、地元の畑に運んで堆肥やマルチに利用しました。

草原の復元作業 2 (9月24日)

草刈りで草原の植物と環境を取り戻す



台風のため1週間延期になりましたが、延期前より多くの方の申し込みがありました。



まず刈った草を持ち出す区域を刈払い機で刈りましたが、今までの最短の20分で終了しました。



作業が早く進んだので、刈払い機も続けて作業します。草集めの人員は少なめでしたが、ゆっくと進めました。



9月になるとクズがよく成長し、草集めにも邪魔になります。そのつるを利用して軽トラのロープ代わりにする方も。



40分作業したあたりで一斉に休憩。今年の調査結果をお話しました。質問タイムもあり、トンボの生態や山焼きの話にもなり、盛り上がりました。



残りの作業を再開。きれいに刈っていただきました。すべての終了は11時。あっという間の2時間でした。